

令和2年度第1回滝川市農業振興基金運用会議の開催結果について

開催日時	令和2年6月30日（火）午後3時00分～午後3時30分
開催場所	JAたきかわ広域営農センター 2階 大会議室
出席状況	【委員】 出席：白木委員長、根守副委員長、鎌田副委員長、佐藤委員、玉井委員、渡邊委員 福田委員、岩崎委員、岩谷委員 【滝川市（事務局）】 産業振興部農政課 小谷課長補佐、二本柳係長、高嶋主査、岸上主事
議事内容	1 開会 2 委員長あいさつ 白木委員長から、今年の農作物の生育状況について報告したのち、議事に対して忌憚のない意見をいただきたいとの挨拶があった。 3 議件（議長：白木委員長、資料説明：高嶋主査、岸上主事） （1）農業振興基金の積立状況について 事務局から資料に基づき説明した。 （2）農業振興基金事業の実施状況について ・滝川農業塾について ・令和元年度滝川農業塾活動状況及び収支決算 ・令和2年度滝川農業塾活動計画及び収支予算 ・滝川農業塾事業の見直しについて 事務局から資料に基づき説明した。 （3）基金事業の見直しについて 事務局から資料に基づき説明した。 委 員）基金事業として、「道内、道外、海外の先進地研修派遣」とあるが、若手農業者の研修に対する助成金などを行うことは可能か。 事務局）仕組み上、若手農業者の研修支援に充てることは可能となっているので、もし、そのような支援を希望するということであれば、例えば、JAたきかわ青年部として、どのような形での実施を考えているのか、どの程度の事業規模・補助率を希望しているのかなどをご提案いただいた上で、基金事業として実施するかどうかについて、再度、この場で検討してまいりたい。 委 員）昨年度、青年部として道外視察を実施したが、手出しが一定程度あるので参加者は少なかった。しかし、視察では台風被害を見据えた作付計画についての話など、現地で聞く内容は活きた情報だと感じたところであり、是非、研修に対する支援を検討していただきたい。 事務局）地域の農業者からも若いころの視察等で得た経験は、今も生きているというお話を伺っているところなので、事業化に向けて、可能な限り具体的なご提案を

	お願いしたい。 委 員) 若手農業者に対する研修支援については、以前からも議論になっているところであり、どのような支援を考えているのかを具体的に示すなど、研修支援に対する強い意思表示が必要である。昨年度の会議においても同じ意見を言わせていただいた経過もあることから、研修支援を行う考えがあるのか確認したい。 事務局) これまで、研修支援の必要性に対してご意見をいただいてきた経過もあることから、今回は事業の見直しという位置づけとしているが、対象事業の見直しだけではなく、必要な支援施策の検討もあわせて行ってまいりたい。 委 員) 花嫁、花婿の確保については、農業者だけの問題ではないかもしれないが、対策の実施を検討していただきたい。 委 員) 花嫁対策については、滝川市の人口を増やすという観点で、農業者だけでなく幅広い対象範囲で行った方がよいと思う。 事務局) 他の部署においても花嫁対策の実施について検討しているところだが、事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の状況も加味しながら考えている状況とのことである。 一方、花嫁対策については、過去に農政課で実施したものの、参加者が少なかったという経過もあることから、例えば、青年部の部員で、どれくらいの希望があるのかを教えていただけると事業を考える上で参考になるので、情報提供をお願いしたい。 (3) その他 事務局なし 委 員) 基金に対する積み立てについては、今後どのように考えているのか。 事務局) 以前の回答と重なってしまうこととなるが、新たな基金への積み立てについては、財政課と相談はしているものの、市の財政状況を踏まえると厳しいというのが実態である。 本件については、なかなか短期的に解決するのは難しいところであることから、今後に向けて、基金の運用も含めて、ご意見を賜りながら検討してまいりたい。 委 員) 一番良いのは各関係団体から、定期的に一定額を積み立てることだと思う。 事務局) 今回は事業実施についての見直しを図りたいと考えているので、積み立てに対しては、引き続き、ご意見を賜りながら検討してまいりたい。
会議資料	会議資料 会議次第 資料1 農業振興基金の積立状況について 資料2 滝川農業塾について 資料3 滝川農業塾 平成29年度事業報告及び収支決算 資料4 滝川農業塾 平成30年度事業計画及び収支予算 資料5 基金事業の見直しについて